

福島大学職員の職能開発(SD)について

本学では、職員のあるべき姿を実現するため、「福島大学人材養成基本方針」を平成21年3月に策定しました。

本学の理念を実現するためには、個人レベルでは職員一人ひとりがあるべき姿を意識し、意欲的に仕事に取り組むことができる環境を整えることが必要であり、そのためには、大学職員共通に求められる資質として、『モチベーション向上・動機づけ』、具体的に行動するための『能力(スキル)』及び行動する際の根拠となる『知識』の3点があげられます。

これらがお互いに関連しあい、資質向上のための土台が整えられるよう、事務職員の養成研修として、階層別研修の他に、下記の研修を行っています。平成27年度からは、SDポイント制を試し、事務職員のSD参加状況の把握、SDの充実に向けた検討を進め、3年の試行期間を経て、平成30年より運用を実施しました。このことにより、事務職員のSD参加状況が可視化され、積極的な参加を促す効果が得られています。

スキルアップのための研修

- パソコン研修
- 語学スキルアップ研修
- 放送大学活用研修
- 大学マネジメント研修（大学の行政、管理、運営に関わる知識の習得）

自己啓発のための特別研修

- 他大学訪問研修
- この指とまれプロジェクト（本学職員としての資質向上・業務改善のため、自由な課題を設定・実行）
- 業務に役立つ資格取得のための研修
- 職員のスキルアップのための企画立案型研修

FDとSDの合同研修

- 新任職員研修（大学の現状やビジネスマナー、コンプライアンス、産学連携、学生支援、ICTの活用について等の理解を促す）
- ハラスメント防止研修、相談員研修（ハラスメントの基礎知識や対応方法を習得することを目的としている）